

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

JC971 U.S. PTO  
09/940376  
08/27/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2000年12月28日

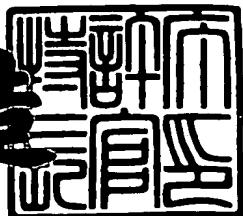
出願番号  
Application Number: 特願2000-403375

出願人  
Applicant(s): 三洋電機株式会社

2001年3月2日

特許庁長官  
Commissioner  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3014094

【書類名】 特許願  
【整理番号】 HEA00-0085  
【提出日】 平成12年12月28日  
【あて先】 特許庁長官殿  
【国際特許分類】 G06F 17/00  
【発明者】  
【住所又は居所】 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会社内  
【氏名】 森島 正行  
【特許出願人】  
【識別番号】 000001889  
【氏名又は名称】 三洋電機株式会社  
【代理人】  
【識別番号】 100079049  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 中島 淳  
【電話番号】 03-3357-5171  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100084995  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 加藤 和詳  
【電話番号】 03-3357-5171  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100085279  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 西元 勝一  
【電話番号】 03-3357-5171  
【選任した代理人】  
【識別番号】 100099025

【弁理士】

【氏名又は名称】 福田 浩志

【電話番号】 03-3357-5171

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006839

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9502363

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品注文受付装置及び方法、商品注文システム及び方法、商品注文装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを送信する送信手段と、

前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付手段と、  
を備えた商品注文受付装置。

【請求項2】 前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを記憶すること

を特徴とする請求項1記載の商品注文受付装置。

【請求項3】 商品を区分するカテゴリ情報受信するカテゴリ情報受信手段を更に備え、

前記送信手段は、前記カテゴリ情報受信手段で受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信すること  
を特徴とする請求項1又は請求項2記載の商品注文受付装置。

【請求項4】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを送信する送信ステップと、

前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付ステップと、  
を備えた商品注文受付方法。

【請求項5】 前記送信ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを送信すること

請求項4記載の商品注文受付方法。

【請求項6】 商品を区分するカテゴリ情報受信するカテゴリ情報受信ステップを更に備え、

前記送信ステップは、前記カテゴリ情報受信ステップで受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信すること

を特徴とする請求項4又は請求項5記載の商品注文受付方法。

【請求項7】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを送信する送信手段と、前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付手段と、を備えた商品注文受付装置と、

前記商品注文受付装置が送信したデータに基づいて商品画像を表示する表示手段と、前記表示手段に表示された商品画像のいずれかを選択する選択手段と、前記選択手段で選択された商品画像に対応する商品を前記商品注文受付装置に注文する注文手段と、を備えた複数の端末装置と、

を有する商品注文システム。

【請求項8】 前記商品注文受付装置の前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを記憶すること

を特徴とする請求項7記載の商品注文システム。

【請求項9】 前記端末装置は、商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択手段と、前記カテゴリ選択手段で選択されたカテゴリを示すカテゴリ情報を送信するカテゴリ情報送信手段と、を更に備え、

前記商品注文受付装置は、前記カテゴリ情報を受信するカテゴリ情報受信手段を更に備え、前記送信手段は、前記カテゴリ情報受信手段で受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を前記端末装置に送信すること

を特徴とする請求項7又は請求項8記載の商品注文システム。

【請求項10】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを繰り返す表示制御データとを送信する送信ステップと、

前記送信ステップにより送信された商品画像及び表示制御データに基づいて商品画像を表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示された商品画像のいずれかを選択する選択ステップと

前記選択ステップで選択された商品画像に対応する商品を注文する注文ステップと、

前記注文ステップで注文された商品を受け付ける注文受付ステップと、  
を備えた商品注文方法。

【請求項11】 前記送信ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを送信すること

を特徴とする請求項10記載の商品注文方法。

【請求項12】 商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択ステップと、

前記カテゴリ選択ステップで選択されたカテゴリを示すカテゴリ情報を送信す

るカテゴリ情報送信ステップと、

カテゴリ情報送信ステップで送信されたカテゴリ情報を受信するカテゴリ情報受信ステップと、を更に備え、

前記送信ステップは、前記カテゴリ情報受信ステップで受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信すること

を特徴とする請求項10又は請求項11記載の商品注文方法。

【請求項13】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを読み出す読出手段と、

前記読出手段により読み出された前記商品画像と前記表示制御データとに基づいて、前記商品画像を表示する表示手段と、

前記表示手段に表示された商品画像に対応する商品を注文する注文手段と、を備えた商品注文装置。

【請求項14】 前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを記憶すること

を特徴とする請求項13記載の商品注文装置。

【請求項15】 商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択手段を更に備え、

前記読出手段は、前記カテゴリ選択手段で選択されたカテゴリに属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を読み出すことを特徴とする請求項13又は請求項14記載の商品注文装置。

【請求項16】 複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも

2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを読み出す読み出ステップと、

前記読み出ステップで読み出された前記商品画像と前記表示制御データとに基づいて、前記商品画像を表示する表示ステップと、

前記表示ステップで表示された商品画像に対応する商品を注文する注文ステップと、

を備えた商品注文方法。

【請求項17】 前記読み出ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを読み出すこと

を特徴とする請求項16記載の商品注文方法。

【請求項18】 商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択ステップを更に備え、

前記読み出ステップは、前記カテゴリ選択ステップで選択されたカテゴリに属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を読み出すこと

を特徴とする請求項16又は請求項17記載の商品注文方法。

【請求項19】 画像に表示された複数の商品画像の中から所望の商品を選択しネットワークを介して発注する商品注文システムにおいて、

画像の特定範囲内に表示される予め定められた数の商品画像のいくつかを自動的に予め定められた順番に従って前記複数の商品画像から切り換えると共に、前記特定範囲内に表示されている商品画像を選択して商品の発注を行う手段を備えた商品注文システム。

【請求項20】 前記商品画像を自動的に切り換える周期を調節する機能を備えること

を特徴とする請求項19記載の商品注文システム。

【請求項21】 前記予め定められた数を変更する機能を備えることを特徴とする請求項19又は請求項20記載の商品注文システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品注文受付装置及び方法、商品注文システム及び方法、商品注文装置に係り、いわゆるインターネットショッピングに用いて好適な商品注文受付装置及び方法、商品注文システム及び方法、商品注文装置に関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】

近年、インターネット上に開設されたサイトを利用して各種商品を購入する、いわゆるインターネット・ショッピングが広く一般に行われている。そして、インターネット・ショッピングで扱われる商品は、今後さらに拡大していくと考えられている。

【0003】

商品を取り扱う数が多くなると、一画面で全ての商品画像を表示することができない。そこで、一画面に所定数の商品画像を表示し、スクロールバーを用いてスクロールすれば他の商品画像が表示されるようになっている。

【0004】

しかし、商品が表示される画面をユーザが開いたとしても、画面を開いた瞬間にユーザの希望商品が表示されるとは限らない。したがって、ユーザは、所定数の商品を数秒間見て、希望の商品がないときはスクロールバーを操作し、新たに表示された数点の商品を数秒間見ることを繰り返している。

【0005】

このため、希望商品名が予め分かっている場合はインターネット・ショッピングの検索機能を用いて商品を検索することができるが、希望商品の具体的な情報が分からぬ場合は上述したスクロールバーの操作を行う必要があり、ユーザの操作負担が大きいという問題があった。さらに、商品数が増大するに従ってユーザの操作負担が大きくなる傾向もあった。

## 【0006】

また、このようなスクロールバーの操作の問題は、パーソナル・コンピュータや携帯電話等のインターネットとのアクセスに用いられる端末装置に不慣れな高齢者等にとっては深刻な問題であり、インターネット・ショッピングの需要増加を妨げる一因になっていた。

## 【0007】

本発明は、このような課題を解決するために提案されたものであり、商品数が増加しても、ユーザの操作負担を増やすことなく、簡単に所望の商品を探し出すことができる商品注文受付装置及び方法、商品注文システム及び方法、商品注文装置を提供することを目的とする。

## 【0008】

## 【課題を解決するための手段】

上述した課題を解決するため、請求項1記載の商品注文受付装置は、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを送信する送信手段と、前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付手段と、を備えて構成されている。

## 【0009】

請求項4記載の商品注文受付方法は、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを送信する送信ステップと、前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付ステップと、を備えて構成されている。

## 【0010】

請求項1及び請求項4記載の発明によれば、商品画像及び表示制御データの送信先では、2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像が消去さ

れ、前記商品画像が消去した分だけ所定個数の新たな商品画像が表示されることが繰り返される。ここで、商品画像としては、商品画像そのものに限らず、さらに当該商品を説明するための文字情報や記号等が含まれていてもよい。つまり、画像データだけでなく、テキストデータ等が含まれていてもよい。これにより、ユーザは、商品画像が非常に多くても、何ら操作をすることなく各商品画像を視覚により容易に確認することができ、この結果、多くの商品の中から所望の商品を容易に注文することができる。

#### 【0011】

請求項2記載の商品注文受付装置は、請求項1記載の発明において、前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを記憶することを特徴とする。

#### 【0012】

請求項5記載の商品注文受付方法は、請求項4記載の発明において、前記送信ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを送信することを特徴とする。

#### 【0013】

請求項2又は請求項5記載の発明によれば、商品画像及び表示制御データの送信先では、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去した分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することが繰り返される。つまり、ユーザが何ら操作を行わなくても、商品画像が所定の方向に移動すると共に新たな商品画像が順次表示される。このため、ユーザは、商品画像が非常に多い場合であっても

、スクロール操作を行うことなく商品を注文することができる。なお、2以上の商品画像を所定方向に並べる場合、1列に並べるだけでなく2列以上に並べることもできる。

#### 【0014】

請求項3記載の商品注文受付装置は、請求項1又は請求項2記載の発明において、商品を区分するカテゴリ情報受信するカテゴリ情報受信手段を更に備え、前記送信手段は、前記カテゴリ情報受信手段で受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信することを特徴とする。

#### 【0015】

請求項6記載の商品注文受付方法は、請求項4又は請求項5記載の発明において、商品を区分するカテゴリ情報を受信するカテゴリ情報受信ステップを更に備え、前記送信ステップは、前記カテゴリ情報受信ステップで受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信することを特徴とする。

#### 【0016】

請求項3又は請求項6記載の発明によれば、商品を区分するカテゴリ情報を受信し、受信したカテゴリ情報に属する商品画像と該商品画像を表示するための表示制御データとを送信する。これにより、多くの商品画像の中から所望の商品画像を絞り込むことができ、この結果、容易かつ迅速に所望の商品を注文することができる。

#### 【0017】

請求項7記載の商品注文システムは、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを送信する送信手段と、前記商品画像に対応する商品の注文を受け付ける注文受付手段と、を備えた商品注文受付装置と、前記商品注文受付装置が送信したデータに基づいて商品画像を表示

する表示手段と、前記表示手段に表示された商品画像のいずれかを選択する選択手段と、前記選択手段で選択された商品画像に対応する商品を前記商品注文受付装置に注文する注文手段と、を備えた複数の端末装置と、を有している。

#### 【0018】

請求項10記載の商品注文方法は、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを送信する送信ステップと、前記送信ステップにより送信された商品画像及び表示制御データに基づいて商品画像を表示する表示ステップと、前記表示ステップで表示された商品画像のいずれかを選択する選択ステップと、前記選択ステップで選択された商品画像に対応する商品を注文する注文ステップと、前記注文ステップで注文された商品を受け付ける注文受付ステップと、を備えている。

#### 【0019】

請求項7及び請求項10記載の発明によれば、端末装置の表示手段には、2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像が消去され、前記商品画像が消去した分だけ所定個数の新たな商品画像が表示されることが繰り返される。ここで、商品画像としては、商品画像そのものに限らず、さらに当該商品を説明するための文字情報や記号等が含まれていてもよい。つまり、画像データだけでなく、テキストデータ等が含まれていてもよい。これにより、ユーザは、商品画像が非常に多くても、端末装置に対して何ら操作をすることなく各商品画像を視覚により容易に確認することができる。そして、ユーザは、端末装置の注文手段を介して、注文受付装置に対して所望の商品を容易に注文することができる。

#### 【0020】

請求項8記載の商品注文システムは、請求項7記載の発明において、前記商品注文受付装置の前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰

り返す表示制御データを記憶することを特徴とする。

#### 【0021】

請求項11記載の商品注文方法は、請求項10記載の発明において、前記送信ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを送信することを特徴とする。

#### 【0022】

請求項8及び請求項11記載の発明によれば、端末装置の表示手段には、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去した分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することが繰り返される。つまり、ユーザが何ら操作を行わなくても、表示手段には商品画像が所定の方向に移動すると共に新たな商品画像が順次表示される。このため、ユーザは、商品画像が非常に多い場合であっても、スクロール操作を行うことなく容易に商品を注文することができる。なお、2以上の商品画像を所定方向に並べる場合、1列に並べるだけでなく2列以上に並べることもできる。

#### 【0023】

請求項9記載の商品注文システムは、請求項7又は請求項8記載の発明において、前記端末装置は、商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択手段と、前記カテゴリ選択手段で選択されたカテゴリを示すカテゴリ情報送信手段と、を更に備え、前記商品注文受付装置は、前記カテゴリ情報を受信するカテゴリ情報受信手段を更に備え、前記送信手段は、前記カテゴリ情報受信手段で受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を前記端末装置に送信することを特徴とする。

#### 【0024】

請求項12記載の商品注文方法は、請求項10又は請求項11記載の発明にお

いて、商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択ステップと、前記カテゴリ選択ステップで選択されたカテゴリを示すカテゴリ情報を送信するカテゴリ情報送信ステップと、カテゴリ情報送信ステップで送信されたカテゴリ情報を受信するカテゴリ情報受信ステップと、を更に備え、前記送信ステップは、前記カテゴリ情報受信ステップで受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを送信することを特徴とする。

#### 【0025】

請求項9及び請求項12記載の発明によれば、端末装置は、ユーザがカテゴリ選択手段を介して選択したカテゴリを示すカテゴリ情報を商品注文受付装置に送信することができる。一方、商品注文受付装置は、受信したカテゴリ情報に属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データとを、端末装置に對して送信する。これにより、端末装置の表示手段には、ユーザが選択したカテゴリの商品画像のみが表示される。したがって、ユーザは、多くの商品画像の中から所望の商品画像を絞り込むことができ、この結果、容易かつ迅速に所望の商品を注文することができる。

#### 【0026】

請求項13記載の商品注文装置は、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを記憶する記憶手段と、前記記憶手段に記憶された商品画像と前記表示制御データとを読み出す読出手段と、前記読出手段により読み出された前記商品画像と前記表示制御データとに基づいて、前記商品画像を表示する表示手段と、前記表示手段に表示された商品画像に対応する商品を注文する注文手段と、を備えている。

#### 【0027】

請求項16記載の商品注文方法は、複数の商品画像と、これら複数の商品画像から少なくとも2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像を自動的に消去し前記消去した商品画像の分だけ所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データとを読み出す読出手段と、前記

出ステップで読み出された前記商品画像と前記表示制御データとに基づいて、前記商品画像を表示する表示ステップと、前記表示ステップで表示された商品画像に対応する商品を注文する注文ステップと、を備えている。

【0028】

請求項13及び請求項16記載の発明によれば、表示手段には、2以上の商品画像を表示しているときに所定個数の商品画像が消去され、前記商品画像が消去した分だけ所定個数の新たな商品画像が表示されることが繰り返される。ここで、商品画像としては、商品画像そのものに限らず、さらに当該商品を説明するための文字情報や記号等が含まれていてもよい。つまり、画像データだけでなく、テキストデータ等が含まれていてもよい。これにより、ユーザは、商品画像が非常に多くても、何ら操作をすることなく各商品画像を視覚により容易に確認することができ、この結果、多くの商品の中から所望の商品を容易に注文することができる。

【0029】

請求項14記載の商品注文装置は、請求項13記載の発明において、前記記憶手段は、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを記憶することを特徴とする。

【0030】

請求項17記載の商品注文方法は、請求項16記載の発明において、前記読み出ステップは、2以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することを自動的に繰り返す表示制御データを読み出すことを特徴とする。

【0031】

請求項14及び請求項17記載の発明によれば、端末装置の表示手段には、2

以上の商品画像を所定方向に並べて表示しているときに前記所定方向の一端側の所定個数の商品画像を消去し、前記商品画像が消去された分だけ残りの商品画像を消去した方向に移動して表示すると共に、前記所定方向の他端側に所定個数の新たな商品画像を表示することが自動的に繰り返される。このように、ユーザが何ら操作を行わなくても、端末装置の表示手段には商品画像が所定の方向に移動すると共に新たな商品画像が順次表示される。このため、ユーザは、商品画像が非常に多い場合であっても、スクロール操作を行うことなく商品を注文することができる。なお、2以上の商品画像を所定方向に並べる場合、1列に並べるだけでなく2列以上に並べることもできる。

#### 【0032】

請求項15記載の商品注文装置は、請求項13又は請求項14記載の発明において、商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択手段を更に備え、前記読出手段は、前記カテゴリ選択手段で選択されたカテゴリに属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を読み出すことを特徴とする。

#### 【0033】

請求項18記載の商品注文方法は、請求項16又は請求項17記載の発明において、商品を区分するカテゴリを選択するカテゴリ選択ステップを更に備え、前記読出手段は、前記カテゴリ選択ステップで選択されたカテゴリに属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、を読み出すことを特徴とする。

#### 【0034】

請求項15及び請求項18記載の発明によれば、ユーザは、カテゴリ選択手段により所望のカテゴリを選択することができる。そして、選択されたカテゴリに属する商品画像と、前記商品画像を表示するための表示制御データと、が読み出される。そして、表示手段には、ユーザの選択したカテゴリに属する商品画像のみが表示される。したがって、ユーザは、多くの商品画像の中から所望の商品画像を絞り込むことができ、この結果、容易かつ迅速に所望の商品を注文することができる。

#### 【0035】

請求項19記載の商品注文システムは、画像に表示された複数の商品画像の中から所望の商品を選択しネットワークを介して発注する商品注文システムにおいて、画像の特定範囲内に表示される予め定められた数の商品画像のいくつかを自動的に予め定められた順番に従って前記複数の商品画像から切り換えると共に、前記特定範囲内に表示されている商品画像を選択して商品の発注を行う手段を備えている。

#### 【0036】

請求項19記載の発明によれば、画像の特定範囲内に表示される予め定められた数の商品画像のいくつかを自動的に予め定められた順番に従って前記複数の商品画像から切り換える。これにより、ユーザは、何ら操作を行うことなく、様々な商品を確認して、前記特定範囲内に表示されている商品画像を選択して商品の発注を行うことができる。

#### 【0037】

請求項20記載の商品注文システムは、請求項19記載の発明において、前記商品画像を自動的に切り換える周期を調節する機能を備えることを特徴とする。これにより、ユーザは、自分のタイミングで商品を確認することができる。

#### 【0038】

請求項21記載の商品注文システムは、請求項19又は請求項20記載の発明において、前記予め定められた数を変更する機能を備えることを特徴とする。これにより、ユーザは、表示画面の大きさに合わせて、商品画像を見やすい大きさに調節することができる。

#### 【0039】

##### 【発明の実施の形態】

以下図面を参照しながら、本発明をインターネット・ショッピング・システムに適用した場合の実施の形態について説明する。

#### 【0040】

##### 【第1の実施の形態】

図1に示すように、本発明の第1の実施の形態に係るインターネット・ショッピング・システム1は、インターネット・ショッピングを管理する管理者が所有

するメインサーバ10と、一般のユーザが使用する複数の通信端末30とから構成される。メインサーバ10と各通信端末30とは、インターネット20を介して接続され、相互通信により各種情報の送受信が可能になっている。

#### 【0041】

図2は、メインサーバ10の構成を示すブロック図である。メインサーバ10は、インターネット20との間で各種情報の入出力を行う入出力ポート11と、各種データベースやプログラム等を記憶したハードディスクドライブ12と、全体動作を制御する制御部13と、これらを相互に接続するバス14とを備えている。

#### 【0042】

なお、メインサーバ10は、図示しないが、各種情報を入力するためのキーボードやマウス等の入力装置、各種メニュー画面や処理結果等を表示するためのモニタ（ディスプレイ）、及び各種情報を印刷するためのプリンタを備えてもよい。なお、これらのハードウェアは本願発明に直接関係ないので、その詳細な説明は省略する。

#### 【0043】

図3は、メインサーバ10のハードディスクドライブ12に記憶されているデータの構成を模式的に示す図である。なお、説明を容易にするために单一のハードディスクドライブとしているが、複数のハードディスクドライブに分散されてもよい。

#### 【0044】

ハードディスクドライブ12に記憶されているデータは、図3（A）に示すように、HTMLファイルやその他のファイルを構成するためのデータであるコンテンツデータと、通信端末30からの入力情報に基づいて商品の注文を受け付けたり表示を制御する制御プログラムとから構成されている。コンテンツデータには、インターネットショッピングで販売する商品の画像（以下「商品画像」という。）や商品のカテゴリの画像（以下「カテゴリ画像」という。）等からなる商品カテゴリ情報が含まれている。

#### 【0045】

ここで、カテゴリ商品情報は、図3（B）に示すように、商品画像等が記憶されている位置や商品に関連するカテゴリその他の情報を管理する画像管理情報と、商品のカテゴリ毎に存在するカテゴリ画像1, 2, …と、商品毎に存在する商品画像1, 2, …とを有している。画像管理情報は、図3（C）に示すように、カテゴリ管理情報と商品管理情報で構成されている。

#### 【0046】

カテゴリ管理情報は、図4に示すように、カテゴリナンバ、カテゴリ画像アドレス、スタートアドレス、エンドアドレスとで構成されている。カテゴリナンバは、カテゴリ画像を表示する順番を示し、1からカテゴリ画像の数まで存在している。カテゴリは、商品毎の分類を示している。カテゴリ画像アドレスは、当該カテゴリに対応するカテゴリ画像が記憶されている場所を示すアドレスである。スタートアドレスは、当該カテゴリに属する複数の商品において最初の商品ナンバを示すアドレスである。エンドアドレスは、当該カテゴリに属する複数の商品において最後の商品ナンバを示すアドレスである。

#### 【0047】

商品管理情報は、図5に示すように、商品ナンバ、注文番号、商品名、商品画像アドレス、商品価格、関連情報で構成されている。商品ナンバは、商品画像を表示する順番を示し、1から商品画像の数まで存在している。ここで、同一のカテゴリに属する商品の商品ナンバは連続するようになっている。例えば図5において、商品ナンバ1から商品ナンバ100までの商品は、「キャベツ」、「にんじん」、…、「ごぼう」であり、全て野菜のカテゴリに属している。商品ナンバ101から商品ナンバ200までの商品は、「サバ」、…、「あさり」であり、全て魚介類のカテゴリに属している。

#### 【0048】

商品名は、ユーザが購入する商品の具体的な名称を示している。商品画像アドレスは、当該商品に対応する商品画像が記憶されている場所を示すアドレスである。商品価格は、商品1個（又は1パック）当たりの価格を示している。関連情報は、当該商品のサイズ、材質、生産地等の詳細な情報を示している。

#### 【0049】

図6は、通信端末30の具体的な構成を示すブロック図である。通信端末30は、インターネット20を介してデータが入出力される入出力ポート31と、ポインタを移動させてカテゴリや商品を選択するポインティングデバイスであるマウス32と、数値や文字等を入力するキーボード33と、カテゴリや商品等を表示する表示部34と、各種プログラムの実行時にワークエリアとして用いるRAM35と、全体動作を制御するCPU36と、各種プログラムや所定のパラメータを記憶するROM37と、データを記憶するハードディスクドライブ38と、各部を接続するバス39とを備えている。

#### 【0050】

なお、マウス32及びキーボード33の代わりに、ポインティングデバイスの機能及び数値や文字等を入力する機能を備えた専用の入力装置を用いてもよい。また、ゲーム機で使用される専用コントローラを用いることもできる。

#### 【0051】

表示部34としては、例えば液晶ディスプレイ、ブラウン管ディスプレイ、ELディスプレイ、プラズマディスプレイ、テレビジョン受像機を適用することができる。さらに、マウス32、キーボード33及び表示部34の各機能を備えた、いわゆるタッチパネルを用いてもよい。

#### 【0052】

CPU36は、ROM37に記憶されている制御プログラムに従って動作し、例えば、メインサーバ10からのデータに基づいてインターネット・ショッピングのウェブサイトを表示したり、マウス32やキーボード33から入力された情報を、入出力ポート31を介してインターネット20に送信する。

#### 【0053】

以上のように構成されたインターネット・ショッピング・システム1においては、最初に、メインサーバ10は、通信端末30に対してウェブサイトを表示するためのデータを送信する。通信端末30は、ユーザの操作に従ってカテゴリ又は商品の選択情報をメインサーバ10に送信する。メインサーバ10は、通信端末30からの選択情報に基づいて他のウェブサイトを表示するためのデータを送信したり、通信端末30からの商品の注文を受け付ける処理を行う。

## 【0054】

図7は、メインサーバ10の動作手順を説明するフローチャートである。メインサーバ10の制御部13は、具体的にはステップST1からステップST6までの処理を実行する。

## 【0055】

ステップST1において、制御部13は、カテゴリ画像を各通信端末30に表示させ、いずれかのカテゴリが選択されるとステップST2に移行する。ここでは具体的には、制御部13は、最初にハードディスクドライブ12から制御プログラムやコンテンツデータを読み出し、ユーザにカテゴリを選択させるためのデータを各通信端末30に送信する。

## 【0056】

図8は、通信端末30の表示部34に表示されるカテゴリ選択画面40を示す図である。カテゴリ選択画面40は、複数のカテゴリ画像が表示される画像表示エリア41と、カテゴリ画像の表示速度を調整するスピードコントロールバー42とを有している。

## 【0057】

画像表示エリア41には、2行3列の計6つのカテゴリ画像が表示される。ここで、カテゴリ画像は、図4に示すカテゴリナンバの順番に従って所定の配列で表示される。

## 【0058】

図9は、画像表示エリア41に表示されるカテゴリ画像の配列順番を示す図である。つまり、1から6の数字は、画像表示エリア41におけるカテゴリ画像の配列順番を示している。例えば、カテゴリナンバ1からカテゴリナンバ6のカテゴリ画像を表示させる場合、カテゴリナンバ1のカテゴリ画像は画像エリア1に、カテゴリナンバ2のカテゴリ画像は画像エリア2に、・・・、カテゴリナンバ6のカテゴリ画像は画像エリア6に表示される。また例えば、カテゴリナンバ3からカテゴリナンバ8のカテゴリ画像を表示させる場合、カテゴリナンバ3のカテゴリ画像は画像エリア1に、カテゴリナンバ4のカテゴリ画像は画像エリア2に、・・・、カテゴリナンバ8のカテゴリ画像は画像エリア6に表示される。

## 【0059】

制御部13は、各行のカテゴリ画像を左方向に移動させながら新たなカテゴリ画像に切り替えるために、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行する。

## 【0060】

ステップST11において、制御部13は、表示すべきカテゴリ画像の先頭のカテゴリナンバを先頭ナンバSとし、さらに表示すべきカテゴリ画像の後尾のカテゴリナンバを後尾ナンバEとして、これらの初期値を設定する。ここでは、画像表示エリア41に6つのカテゴリ画像を同時に表示するので、S←1、E←6を設定して、ステップST12に移行する。

## 【0061】

ステップST12において、制御部13は、S番目からE番目までのカテゴリナンバのカテゴリ画像を図9に示す配列で同時に表示するためのデータを通信端末30に送信して、ステップST13に移行する。これにより、表示部34の画像エリア1, 2, ..., 6には、カテゴリナンバ1, 2, ..., 6のカテゴリ画像が表示される。

## 【0062】

ユーザは、所望のカテゴリ画像の上にポインタ45をあててクリックすることで、そのカテゴリ画像に対応するカテゴリを選択することができる。このとき、CPU36は、マウス32により選択されたカテゴリを示す情報（以下「カテゴリ選択情報」という。）を、入出力ポート31を介してメインサーバ10に送信する。

## 【0063】

ステップST13において、制御部13は、いずれかのカテゴリが選択されたかを判定する。ここでは具体的には、通信端末30からのカテゴリ選択情報を入出力ポート11が受信したかを判定する。制御部13は、入出力ポート11がカテゴリ選択情報を受信したときは、カテゴリが選択されたと判定して、カテゴリ画像表示ルーチンを抜ける。一方、制御部13は、入出力ポート11がカテゴリ情報を受信していないときは、カテゴリが選択されていないと判定して、ステッ

STEP14に移行する。なお、カテゴリを選択する前に、図示しないストップボタンを押してからカテゴリ画像の更新を停止することもできる。

【0064】

ステップST14において、制御部13は、ステップST11の処理を開始してから一定時間経過したかを判定し、一定時間経過したと判定したときはステップST15に進み、一定時間経過していないと判定したときはステップST12に戻る。ここでは、6つのカテゴリ画像がカテゴリ選択画面40に初めて表示された状態であるので、一定時間としてはユーザが各カテゴリ画像を認識することができる時間、例えば6秒が好ましい。

【0065】

このようにステップST12からステップST14の処理を繰り返すことによって、制御部13は、通信端末30のカテゴリ選択画面40上に、図11(A)に示すように、カテゴリナンバ1, 2, ..., 6のカテゴリ画像を例えば6秒間表示させることができる。

【0066】

ステップST15において、制御部13は、先頭ナンバS及び後尾ナンバEのそれぞれに2aを加算する。つまり、 $(S \leftarrow S + 2a)$ かつ $(E \leftarrow E + 2a)$ の処理を行って、ステップST16に移行する。ここで、aの値は、カテゴリ画像の表示を切り替えるときに各行において削除（又は追加）されるカテゴリ画像の数を示す。また、aの係数「2」は、カテゴリ画像が配列されたときの行数を示す。本実施の形態では、各行でカテゴリ画像を1つずつ切り替えてるので、a = 1である。

【0067】

ステップST16において、制御部13は、カテゴリナンバがSからEまでのカテゴリ画像を図9に示す配列で同時に表示するデータを通信端末30に送信して、ステップST17に移行する。

【0068】

ステップST17において、制御部13は、いずれかのカテゴリが選択されたか、つまり通信端末30からカテゴリを選択するカテゴリ選択情報が送信された

かを判定する。制御部13は、カテゴリ選択情報を受信するとカテゴリが選択されたと判定して、カテゴリ画像表示ルーチンを抜ける。一方、カテゴリ選択情報を受信しないときはカテゴリが選択されていないと判定して、ステップST18に移行する。ここでも、カテゴリを選択する前に、図示しないトップボタンを押してからカテゴリ画像の更新を停止することもできる。

## 【0069】

ステップST18において、制御部13は、所定時間経過したかを判定し、所定時間経過したと判定したときはステップST15に戻り、所定時間経過していないと判定したときはステップST16に戻る。

## 【0070】

このようにステップST15からステップST18までの処理を行うことによって、制御部13は、通信端末30のカテゴリ選択画面40上に、図11（B）に示すように、カテゴリナンバ3, 4, …, 8のカテゴリ画像を1秒間表示させることができる。制御部13は、さらに1回この処理を行うことによって、図11（C）に示すように、カテゴリナンバ5, 6, …, 10のカテゴリ画像を1秒間表示させることができる。つまり、制御部13は、最左端の列にある2つのカテゴリ画像を消去して、残りのカテゴリ画像をそれぞれ左に移動させて表示すると同時に、最右端の列に新たな2つのカテゴリ画像を表示させる制御を行っている。

## 【0071】

なお、消去されたカテゴリ画像は、再表示が容易になるように通信端末30のハードディスクドライブ38に格納してもよいし、再びメインサーバ10から通信端末30に送信してもよい。

## 【0072】

一方、ユーザは、通信端末30に備えられたマウス32を操作することで、カテゴリ画像の表示切替速度を調整することもできる。カテゴリ画像の切替速度を制御するためには、ユーザは、マウス32を操作してスピードコントロールバー42をドラッグすればよい。例えば、ユーザがスピードコントロールバー42を例えば「速い」の方向に所定ステップ分ドラッグすると、CPU36は、切替速

度を所定ステップ分速くする速度制御情報を、入出力ポート31を介して送信する。

【0073】

メインサーバ10の制御部13は、インターネット20を介して速度制御情報を受信すると、ステップST18における「所定時間」を所定ステップ分短く設定して、ステップST15からステップST18までの処理を繰り返し実行する。この結果、カテゴリ選択画面40の画像表示エリア41上に表示されるカテゴリ画像の切替速度を速くすることができる。

【0074】

逆に、カテゴリ画像の切替速度を遅くする場合は、ユーザは、スピードコントロールバー42を例えば「遅い」の方向に所定ステップ分ドラッグすればよい。このとき、メインサーバ10の制御部13は、ステップST18における「所定時間」を所定ステップ分長く設定すればよい。

【0075】

上述したように、メインサーバ10の制御部13は、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行して、カテゴリ画像表示ルーチンを抜けると、次に、図7に示すステップST2に移行する。

【0076】

ステップST2において、制御部13は、選択されたカテゴリに属する各商品の商品画像を通信端末30に表示させて、いずれかの商品が選択されるとステップST3に移行する。ここでは具体的には、制御部13は、図4に示すカテゴリ管理情報を参照して、選択されたカテゴリのスタートアドレス及びエンドアドレスを探し出す。そして、制御部13は、スタートアドレスからエンドアドレスまでの商品ナンバの商品画像を表示するためのコンテンツデータをハードディスクドライブ12から読み出し、入出力ポート11を介して通信端末30に送信する。この結果、通信端末30の表示部34には、選択されたカテゴリに属する各商品の商品画像を有する商品選択画面が表示される。

【0077】

図12は、表示部34に表示された商品選択画面50を示す図である。商品選

択画面50は、商品画像が表示される画像表示エリア51と、商品画像の切替速度を制御するスピードコントロールバー52と、注文番号を入力する注文番号入力エリア53と、入力された注文番号の商品画像を表示させるためのジャンプボタン54と、図8に示すカテゴリ選択画面40に戻るための前画面ボタン55と、商品画像の表示自動切り替え開始するスタートボタン56と、商品画像の表示自動切り替えを停止するストップボタン57とを有している。

#### 【0078】

画像表示エリア51には、2行3列の計6つの商品画像が表示される。ここで、商品画像は、図5に示す商品ナンバの順番に従って表示される。また、商品画像は、商品ナンバの小さい方から順に、図9に示す順番に従って配列される。つまり、図9に示す1から6の数字は、画像表示エリア51における商品画像の表示順番を示している。例えば、商品ナンバ1から商品ナンバ6の商品画像を表示させる場合、商品ナンバ1の商品画像は画像エリア1に、商品ナンバ2の商品画像は画像エリア2に、・・・、商品ナンバ6の商品画像は画像エリア6に表示される。また例えば、商品ナンバ3から商品ナンバ8の商品画像を表示させる場合、商品ナンバ3の商品画像は画像エリア1に、商品ナンバ4の商品画像は画像エリア2に、・・・、商品ナンバ8の商品画像は画像エリア6に表示される。

#### 【0079】

制御部13は、各行の商品画像を左方向に移動させながら新たな商品画像を表示させるために、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行する。なお、ここでの処理は、カテゴリ画像を左方向に移動させながら新たなカテゴリ画像に切り替える処理と同様なので、詳細な説明は省略する。

#### 【0080】

一方、ユーザは、通信端末30に備えられたマウス32やキーボード33を操作することで、商品選択画面50に表示された商品画像の表示切替速度を調整したり、所望の商品画像をダイレクトに表示させることもできる。

#### 【0081】

ここで、所望の商品画像をダイレクトに表示させるためには、ユーザは、注文番号入力エリア53上にポインタをあててクリックし、キーボード33により所

望の注文番号を入力して、最後にジャンプボタン54をクリックすればよい。CPU36は、入力された注文番号に対応する商品画像を送信するように、入出力ポート31を介してメインサーバ10に要求する。

#### 【0082】

メインサーバ10の制御部13は、ハードディスクドライブ12から商品画像を読み出して、入出力ポート11を介して通信端末30に送信する。この結果、商品選択画面50の画像表示エリア51上に、所望の商品画像がダイレクトに表示される。

#### 【0083】

なお、ユーザが商品選択画面50の前画面ボタン55をクリックすると、通信端末30の表示部34には、前の画面、つまり図8に示すカテゴリ選択画面40が表示される。

#### 【0084】

上述したように、メインサーバ10の制御部13は、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行して、商品画像表示ルーチンを抜けると、次に、図7に示すステップST3に移行する。

#### 【0085】

ステップST3において、制御部13は、選択された商品の関連情報を表示する制御を実行する。具体的には、制御部13は、図5に示す商品管理情報を参照して、選択された商品に対応する関連情報を含むコンテンツデータをハードディスクドライブ12から読み出す。そして、制御部13は、コンテンツデータを、入出力ポート11を介して通信端末30に送信して、ステップST4に移行する。この結果、通信端末30の表示部34には、選択された商品の商品画像と関連情報を有する商品関連情報画面が表示される。

#### 【0086】

図13は、表示部34に表示された商品関連情報画面60を示す図である。商品関連情報画面60は、1つの商品画像を表示する画像表示エリア61と、商品の基本情報を表示する基本情報表示エリア62と、商品に関連する詳細な情報を表示する関連情報表示エリア63と、商品の数量を表示する数量表示エリア64

と、商品を買い物リストに追加するための追加ボタン65と、前の画面に戻るための前画面ボタン66とを有している。なお、買い物リストとは、ユーザが購入する商品及び数量を記述したファイルである。

#### 【0087】

画像表示エリア61には、上述したステップST2において選択された商品画像が拡大して表示される。基本情報表示エリア62には、図5に示す商品管理情報に記述されている商品名、注文番号、価格の基本情報が表示される。関連情報表示エリア63には、商品管理情報に記述されている当該商品の材質やサイズ等の関連情報が表示される。

#### 【0088】

数量表示エリア64には、当該商品を購入する数量が表示されるが、最初はデフォルト値として1が表示される。2個以上の商品を購入するときは、ユーザが数量表示エリア64に商品の数量を入力すればよい。ユーザが前画面ボタン66をクリックすると、表示部34には前の画面、つまり図12に示す商品選択画面50が表示される。

#### 【0089】

追加ボタン65は、画像表示エリア61に表示されている商品を買い物リストに追加するためのボタンである。そして、ユーザが追加ボタン65をクリックすると、CPU36は、画像表示エリア61に表示されている商品及び数量表示エリア64に表示されている数量を買い物リストに追加すべく、追加内容をリスト追加情報をメインサーバ10に送信する。

#### 【0090】

ステップST4において、制御部13は、通信端末30に表示されている商品を買い物リストに入れるかを判定する。ここでは、制御部13は、リスト追加情報を入出力ポート11が受信したかを判定し、リスト追加情報を受信したときは、上記商品を買い物リストに入れると判定して、ステップST5に移行する。一方、制御部13は、リスト追加情報を受信しないときは、上記商品を買い物リストに入れないと判定して、ステップST3に戻る。

#### 【0091】

ステップST5において、制御部13は、買い物リストに記述された各商品の購入金額及び合計金額を計算する。そして、制御部13は、計算結果を表示するためのコンテンツデータをハードディスクドライブ12から読み出して、入出力ポート11を介して通信端末30に送信する。この結果、通信端末30の表示部34には、商品購入画面が表示される。

#### 【0092】

図14は、表示部34に表示された商品購入画面70を示す図である。商品購入画面70は、各商品の購入金額を表示する購入金額エリア71と、注文を実行する注文ボタン72と、買い物を続行する買い物続行ボタン73と、前の画面に戻る前画面ボタン74とを備えている。

#### 【0093】

購入金額エリア71には、買い物リストに記述されていた全ての商品について、注文番号、商品名、商品1つ（又は1パック）当たりの価格、商品を購入する数量、当該商品の購入金額、さらに合計金額が表示される。

#### 【0094】

注文ボタン72は、購入金額エリア71に表示された商品及びその数量の注文を依頼するためのボタンである。ユーザは、購入金額エリア71に表示された内容の注文を依頼するときは、注文ボタン72をクリックすればよい。このとき、CPU36は、買い物リストに記述された商品を注文する注文情報を、入出力ポート31を介してメインサーバ10に送信する。

#### 【0095】

買い物続行ボタン73は、購入金額エリア71に表示されている商品の他にも購入したい商品がある場合に用いられる。例えば、ユーザが買い物続行ボタン73をクリックすると、表示部34に商品選択画面50が表示される。これにより、ユーザは他の商品を選択できるようになる。

#### 【0096】

前画面ボタン74は、直前に表示されていた画面に戻るときに用いられる。例えば、ユーザが前画面ボタン74をクリックすると、表示部34には図13に示す商品関連情報画面60が表示される。

## 【0097】

そして、メインサーバ10の制御部13は、通信端末30からの注文があったか、具体的には、通信端末30が出力する注文情報を入出力ポート11が受信したかを判定する。制御部13は、注文情報を受信したと判定したときは、通信端末30からの注文があったと判定して、ステップST6に移行する。一方、制御部13は、注文情報を受信しなかったときは、通信端末30からの注文がなかったと判定して、ステップST2に戻る。

## 【0098】

ステップST6において、制御部13は、買い物リストに記述されている内容を図示しない店舗や工場に送信して、注文処理を終了する。

## 【0099】

以上のように、本発明の第1の実施の形態に係るインターネット・ショッピング・システム1では、メインサーバ10は、カテゴリや商品の画像を所定の方向に移動させながら新たな画像を自動的に順次表示することによって、ユーザがスクロールの操作をしなくても、通信端末30に多数の画像を表示させることができる。この結果、ユーザは、商品数が非常に多くても、操作負担が大幅に増えることなく、容易に商品を注文することができる。

## 【0100】

## 【第2の実施の形態】

つぎに、本発明の第2の実施の形態について説明する。第2の実施の形態に係るインターネット・ショッピング・システム1では、メインサーバ10は、通信端末30に制御プログラム及びコンテンツデータを一括して送信する。通信端末30は、これらのデータに基づいてカテゴリ画像や商品画像の表示を行い、メインサーバ10に対して所望の商品を注文する。

## 【0101】

なお、本実施の形態では、第1の実施の形態でメインサーバ10が行っていた動作を通信端末30が主に行っているので、表示画面等の重複する事項については記載を省略し、通信端末30の動作について主に説明する。

## 【0102】

メインサーバ10が通信端末30に送信する制御プログラム及びコンテンツデータは、図3から図5と同様に構成されている。

【0103】

通信端末30のCPU36は、入出力ポート31を介してこれらのデータを受信して、ハードディスクドライブ38に記憶させる。そして、CPU36は、図7に示すステップST1からステップST6までの処理を実行する。

【0104】

ステップST1において、CPU36は、ハードディスクドライブ38から制御プログラムやコンテンツデータを読み出し、図8に示すカテゴリ選択画面40を表示部34に表示させる。そして、いずれかのカテゴリが選択されるとステップST2に移行する。

【0105】

このとき、CPU36は、画像表示エリア41内の各行のカテゴリ画像を左方向に移動させながら切り替えるために、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行する。

【0106】

ステップST11において、CPU36は、表示すべきカテゴリ画像の先頭ナンバS及び後尾ナンバEの初期値を設定する。ここでは、S←1、E←6を設定して、ステップST12に移行する。

【0107】

ステップST12において、CPU36は、S番目からE番目までのカテゴリナンバのカテゴリ画像を図9に示す配列で同時に表示して、ステップST13に移行する。これにより、表示部34の画像エリア1, 2, ..., 6には、カテゴリナンバ1, 2, ..., 6のカテゴリ画像が表示される。

【0108】

ユーザは、所望のカテゴリ画像の上にポインタをあててクリックすることで、そのカテゴリ画像に対応するカテゴリを選択することができる。

【0109】

ステップST13において、CPU36は、いずれかのカテゴリが選択された

かを判定し、カテゴリが選択されたときはカテゴリ画像表示ルーチンを抜ける。一方、CPU36は、カテゴリが選択されていないと判定したときはステップST14に移行する。

【0110】

ステップST14において、CPU36は、ステップST11の処理を開始してから一定時間（例えば6秒）経過したかを判定し、一定時間経過したと判定したときはステップST15に進み、一定時間経過していないと判定したときはステップST12に戻る。

【0111】

このようにステップST12からステップST14の処理を繰り返すことによって、CPU36は、カテゴリ選択画面40上に、図11（A）に示すように、カテゴリナンバ1, 2, ..., 6のカテゴリ画像を例えば6秒間表示させることができる。

【0112】

ステップST15において、CPU36は、先頭ナンバS及び後尾ナンバEのそれぞれに $2a$ を加算する。つまり、 $(S \leftarrow S + 2a)$ かつ $(E \leftarrow E + 2a)$ の処理を行って、ステップST16に移行する。ここでは、 $a = 1$ とする。

【0113】

ステップST16において、CPU36は、S番目からE番目までのカテゴリ画像を図9に示す配列で同時に表示するように表示部34を制御して、ステップST17に移行する。

【0114】

ステップST17において、CPU36は、いずれかのカテゴリが選択されたかを判定し、カテゴリが選択されたと判定したときはカテゴリ画像表示ルーチンを抜ける。一方、カテゴリが選択されていないと判定したときは、ステップST18に移行する。

【0115】

ステップST18において、CPU36は、所定時間（例えば1秒）経過したかを判定し、所定時間経過したと判定したときはステップST15に戻り、所定

時間経過していないと判定したときはステップST16に戻る。

#### 【0116】

このようにステップST15からステップST18までの処理を行うことによって、CPU36は、カテゴリ選択画面40上に、図11(B)に示すように、カテゴリナンバ3, 4, ..., 8のカテゴリ画像を1秒間表示させることができる。CPU36は、さらに1回この処理を行うことによって、図11(C)に示すように、カテゴリナンバ5, 6, ..., 10のカテゴリ画像を1秒間表示させることができる。つまり、CPU36は、最左端の列にある2つのカテゴリ画像を消去して、残りのカテゴリ画像をそれぞれ左に移動させて表示すると同時に、最右端の列に新たな2つのカテゴリ画像を表示させる制御を行っている。

#### 【0117】

一方、ユーザは、マウス32を操作することで、カテゴリ画像の表示切替速度を調整することができる。カテゴリ画像の切替速度を制御するためには、ユーザは、マウス32を操作してスピードコントロールバー42をドラッグすればよい。例えば、ユーザがスピードコントロールバー42を例えば「速い」の方向に所定ステップ分ドラッグすると、CPU36は、ステップST18における「所定時間」を所定ステップ分短く設定して、ステップST15からステップST18までの処理を繰り返し実行する。この結果、カテゴリ選択画面40の画像表示エリア41上に表示されるカテゴリ画像の切替速度を速くすることができる。

#### 【0118】

逆に、カテゴリ画像の切替速度を遅くする場合は、ユーザは、スピードコントロールバー42を例えば「遅い」の方向に所定ステップ分ドラッグすればよい。このとき、CPU36は、ステップST18における「所定時間」を所定ステップ分長く設定すればよい。

#### 【0119】

上述したように、CPU36は、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行して、カテゴリ画像表示ルーチンを抜けると、次に、図7に示すステップST2に移行する。

#### 【0120】

ステップST2において、CPU36は、選択されたカテゴリに属する複数の商品の商品画像を表示部34に表示させて、いずれかの商品が選択されるとステップST3に移行する。

#### 【0121】

ここでは具体的には、CPU36は、図4に示すカテゴリ管理情報を参照して、選択されたカテゴリのスタートアドレス及びエンドアドレスを探し出す。そして、CPU36は、スタートアドレスからエンドアドレスまでの商品ナンバの商品画像を表示するためのコンテンツデータをハードディスクドライブ38から読み出して、表示部34に図12に示す商品選択画面50を表示させることができる。

#### 【0122】

CPU36は、各行の商品画像を左方向に移動させながら切り替えるために、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行する。なお、ここでの処理は、カテゴリ画像を左方向に移動させながら新たなカテゴリ画像に切り替える処理と同様なので、詳細な説明は省略する。

#### 【0123】

一方、ユーザは、マウス32やキーボード33を操作することで、商品選択画面50に表示された商品画像の表示切替速度を調整したり、所望の商品画像をダイレクトに表示させることもできる。

#### 【0124】

所望の商品画像をダイレクトに表示させるためには、ユーザは、注文番号入力エリア53上にポインタをあててクリックし、キーボード33により所望の注文番号を入力して、最後にジャンプボタン54をクリックすればよい。このとき、CPU36は、ハードディスクドライブ38から商品画像を読み出して、商品選択画面50の画像表示エリア51に上記商品画像をダイレクトに表示させることができる。

#### 【0125】

CPU36は、図10に示すステップST11からステップST18までの処理を実行して、商品画像表示ルーチンを抜けると、次に、図7に示すステップS

T3に移行する。

#### 【0126】

ステップST3において、CPU36は、選択された商品の関連情報を表示する制御を実行する。具体的には、CPU36は、図5に示す商品管理情報を参照して、選択された商品に対応する関連情報を含むコンテンツデータをハードディスクドライブ38から読み出す。そして、CPU36は、選択された商品の商品画像と関連情報を有する商品関連情報画面60を表示部34に表示する。

#### 【0127】

このとき、ユーザが追加ボタン65をクリックすると、CPU36は、画像表示エリア61に表示されている商品及び数量表示エリア64に表示されている数量を買い物リストに追加する。

#### 【0128】

ステップST4において、CPU36は、表示部34に表示されている商品を買い物リストに入れるか、つまり追加ボタン65がクリックされたかを判定する。そして、CPU36は、追加ボタン65がクリックされたときは上記商品を買い物リストに入れると判定して、ステップST5に移行する。一方、CPU36は、追加ボタン65がクリックされていないときは上記商品を買い物リストに入れないと判定して、ステップST3に戻る。

#### 【0129】

ステップST5において、CPU36は、買い物リストに記述された各商品の購入金額及び合計金額を計算する。そして、CPU36は、計算結果を示すコンテンツデータをハードディスクドライブ38から読み出し、表示部34に商品購入画面70を表示する。ユーザは、購入金額エリア71に表示された内容の注文を依頼するときは、注文ボタン72をクリックすればよい。

#### 【0130】

CPU36は、ユーザが注文したか、具体的には注文ボタン72がクリックされたかを判定する。そして、CPU36は、注文ボタン72がクリックされたときは注文があったと判定して、ステップST6に移行する。一方、CPU36は、注文ボタン72がクリックされなかったときは注文がなかったと判定して、ス

ステップST2に戻る。

【0131】

ステップST6において、CPU36は、買い物リストをメインサーバ10に送信する。メインサーバ10は、通信端末30からの買い物リストの内容を図示しない店舗や工場に送信して、注文処理を終了する。

【0132】

以上のように、本発明の第2の実施の形態に係るインターネット・ショッピング・システム1では、通信端末30は、カテゴリ又は商品の画像を所定の方向に移動させながら新たな画像を自動的に順次表示することによって、ユーザがスクロールする操作をしなくても、表示部34に多数の画像を表示させることができる。この結果、ユーザは、商品数が非常に多くても、操作負担が大幅に増えることなく、メインサーバ10に対して容易に商品を注文することができる。

【0133】

なお、本実施の形態では、通信端末30は、メインサーバ10から送信された制御プログラム及びコンテンツデータを用いて所定の処理を行っていたが、CD-ROMやメモリカード等の記録媒体から上記制御プログラム及び上記コンテンツデータを読み出して所定の処理を行ってもよい。そして、CD-ROM等の記録媒体に記録されていない商品については、第1の実施の形態と同様にして、メインサーバ10が通信端末30にデータを送信すればよい。

【0134】

[その他の実施の形態]

なお、第1及び第2の実施の形態では、カテゴリや商品の画像を左方向に移動させる場合について説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。したがって、画像を縦方向に移動させたり、斜め方向に移動させてもよい。

【0135】

さらに、上述した実施の形態では、図9に示す画像エリア1から画像エリア6にそれぞれ画像のみを表示していたが、画像と共に文字を表示することもできる。この場合、画像と共に文字も移動するように制御すればよい。

【0136】

また、上述した実施の形態では、図11（A）から図11（C）に示すように、2行3列に配列された6つの画像のうち、各行の左端の画像をそれぞれ1つ消去して残りの画像を左方向に1つ分ずらし、各行の右端に新たな画像をそれぞれ1つ表示する場合について説明した。しかし、本発明は、これに限定されるものではなく、マトリクス状に配列された各画像に対して、各行の左端の画像をそれぞれ2以上の所定個数だけ消去して残りの画像を左方向に所定個数分ずらし、各行の右端に新たな画像をそれぞれ所定個数表示することもできる。

#### 【0137】

例えば、（所定個数： $a = 2$ ）とすると、図15（A）から図15（C）に示すように、各行の画像を左方向に2つずつ移動させることができる。さらに、（所定個数： $a = 3$ ）とすると、図16（A）から図16（C）に示すように、各行の画像を左方向に3つずつ移動させることができる。

#### 【0138】

さらに、上述した実施の形態では、6つの画像を2行3列で表示する場合について説明したが、本発明はこれに限定されるものではない。ユーザが見易い配列であれば、図17に示すように4つの画像を2行2列で表示してもよいし、図18に示すように8つの画像を2行4列で表示してもよい。このように、表示する画像の数は限定されるものではないが、4個から8個が好ましい。また、各画像を2行で配列するだけでなく、1列又は3列以上で配列してもよい。

#### 【0139】

また、上述した実施の形態では、インターネット20を介してデータの送受信を行っていたが、インターネット20の代わりに、電力線、ISDN、ケーブルテレビジョン放送回線、ディジタルテレビジョン放送を用いることができる。

#### 【0140】

##### 【発明の効果】

本発明に係る商品注文受付装置及び商品注文受付方法によれば、操作を行うことなく多くの商品画像を順次表示させることができるので、商品数が増加しても、ユーザの操作負担を増やすことなく、簡単に所望の商品を探し出すことができる。

【0141】

本発明に係る商品注文システム及び商品注文方法によれば、端末装置側で特別な操作が行われなくても、商品注文受付装置が端末装置に多くの画像を順次表示させることができるので、商品数が増加しても、ユーザの操作負担を増やすことなく、簡単に所望の商品を探し出すことができる。

【0142】

本発明に係る商品注文装置及び商品注文方法によれば、操作を行うことなく多くの商品画像を順次表示することができるので、商品数が増加しても、ユーザの操作負担を増やすことなく、簡単に所望の商品を探し出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明を適用したインターネット・ショッピング・システムの概略的な構成を示すブロック図である。

【図2】

インターネット・ショッピング・システムのメインサーバの構成を示すブロック図である。

【図3】

メインサーバのハードディスクドライブに記憶されているデータの構成を示す図である。

【図4】

メインサーバに記憶されているデータの一部であるカテゴリ管理情報の構成を示す図である。

【図5】

メインサーバに記憶されているデータの一部である商品管理情報の構成を示す図である。

【図6】

インターネット・ショッピング・システムの通信端末の構成を示すブロック図である。

【図7】

メインサーバに備えられた制御部の動作手順を説明するフローチャートである。

【図8】

通信端末の表示部に表示されるカテゴリ選択画面を示す図である。

【図9】

カテゴリ選択画面内の画像表示エリアに表示されるカテゴリ画像の表示の順番を示す図である。

【図10】

各カテゴリ画像を所定の方向に移動させながら切り替えるときの制御部の動作手順を示すフローチャートである。

【図11】

通信端末の表示部に表示されるカテゴリ画像の表示切替を説明するための図である。

【図12】

通信端末の表示部に表示された商品選択画面を示す図である。

【図13】

通信端末の表示部に表示された商品関連情報画面を示す図である。

【図14】

通信端末の表示部に表示された商品購入画面を示す図である。

【図15】

2行3列に配列された6つの画像のうち各行の画像を左方向に2つずつ移動させたときの状態を説明するための図である。

【図16】

2行3列に配列された6つの画像のうち各行の画像を左方向に3つずつ移動させたときの状態を説明するための図である。

【図17】

4つの画像を2行2列で配列したときの状態を説明するための図である。

【図18】

8つの画像を2行4列で配列したときの状態を説明するための図である。

【符号の説明】

1 インターネット・ショッピング・システム

10 メインサーバ

11, 31 入出力ポート

12, 38 ハードディスクドライブ

13 制御部

20 インターネット

30 通信端末

32 マウス

33 キーボード

34 表示部

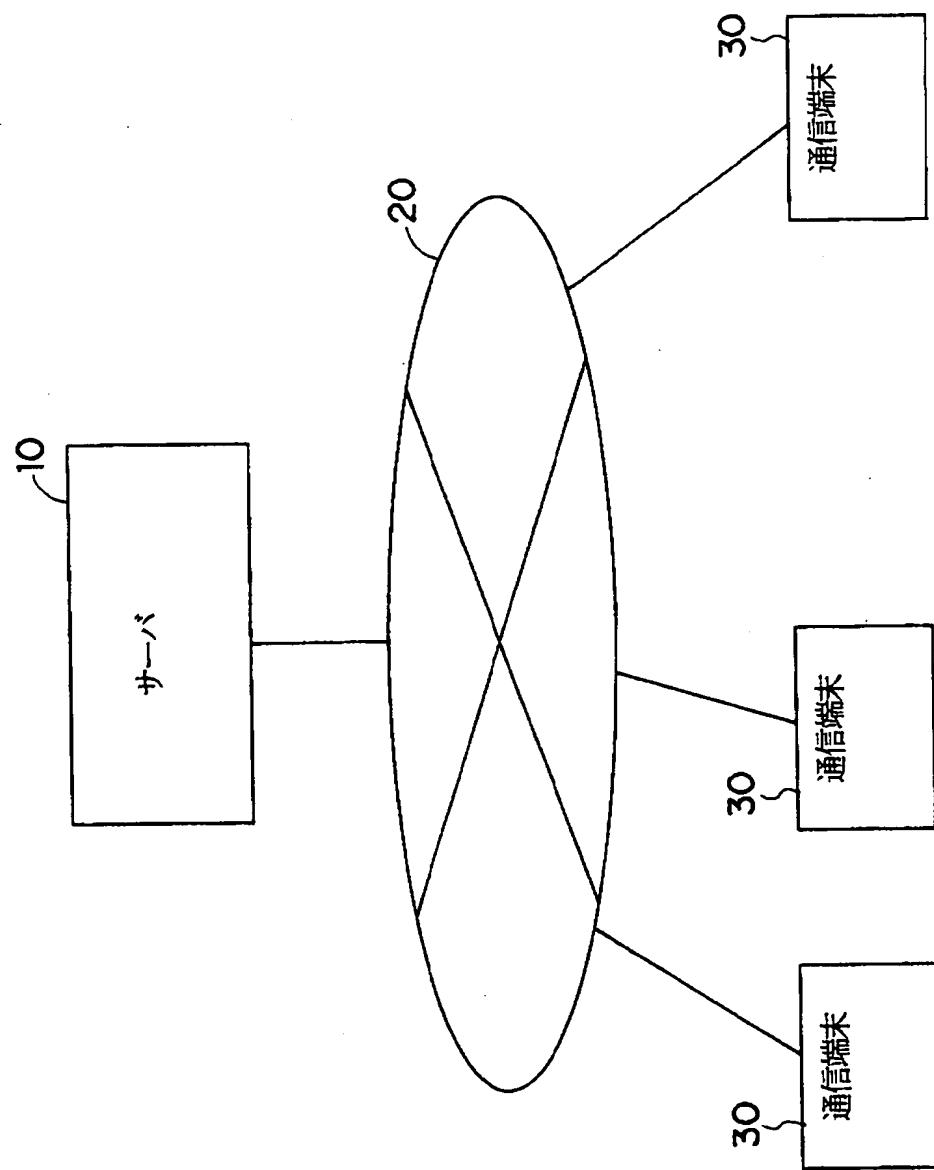
35 RAM

36 CPU

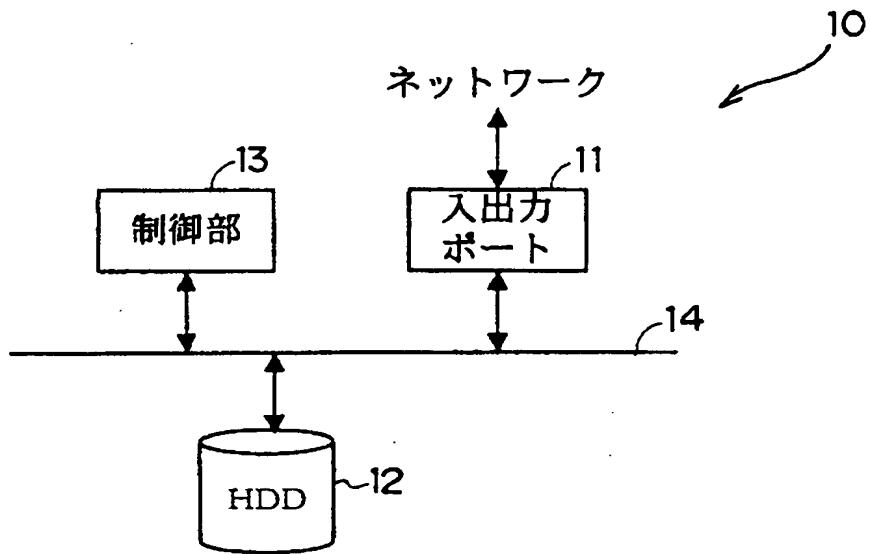
37 ROM

【書類名】 図面

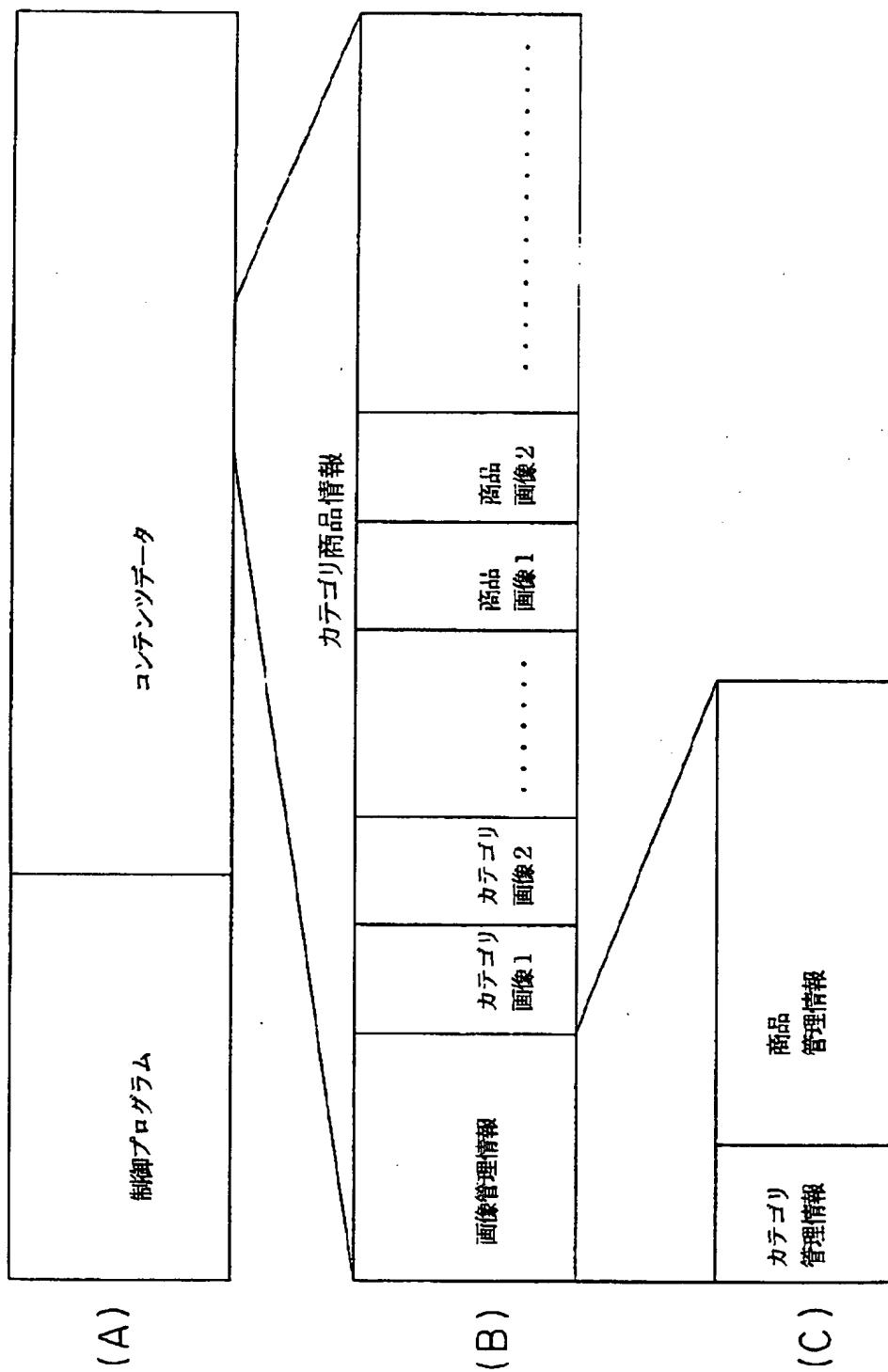
【図1】



【図2】



【図3】



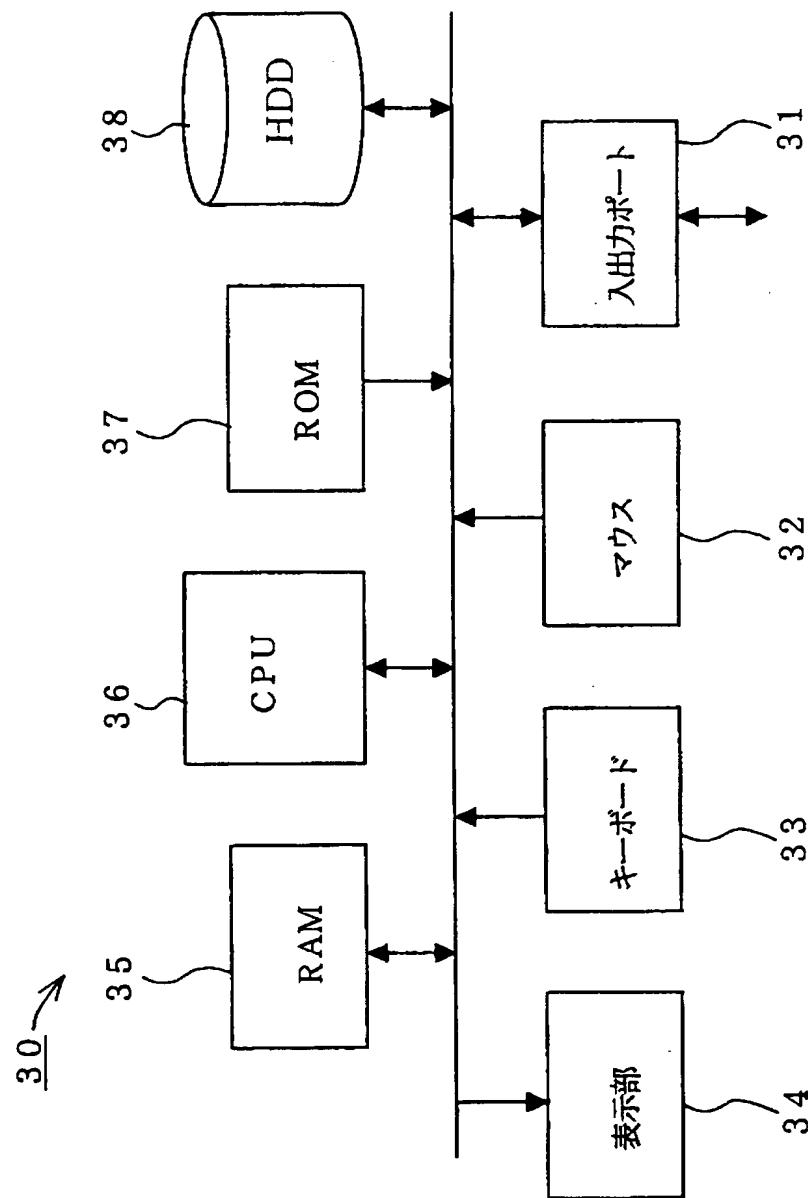
【図4】

カテゴリナンバ	カテゴリ	カテゴリ画像アドレス	スタートアドレス	エンドアドレス
1	野菜	AAAA	a a a a	a b a b
2	魚介類	BBBB	b b b b	b c b c
3	肉類	CCCC	c c c c	c d c d

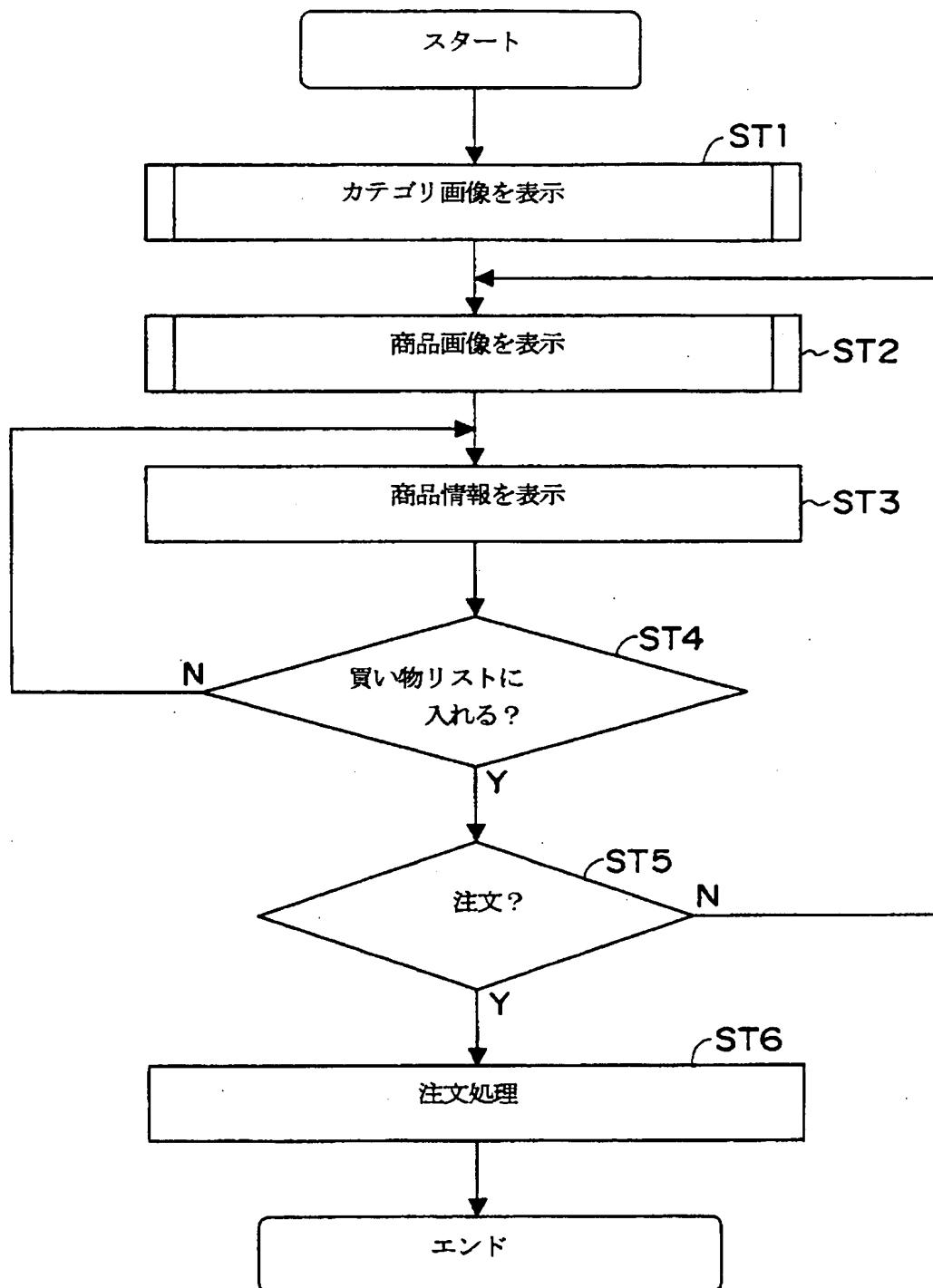
【図5】

商品ナンバ	注文番号	商品名	商品画像アドレス	商品価格	関連情報
1	2001	キャベツ			
2	2002	にんじん			
100	2100	ごぼう			
101	3001	サバ			
200	3100	あさり			
201	4001	牛肉			

【図6】

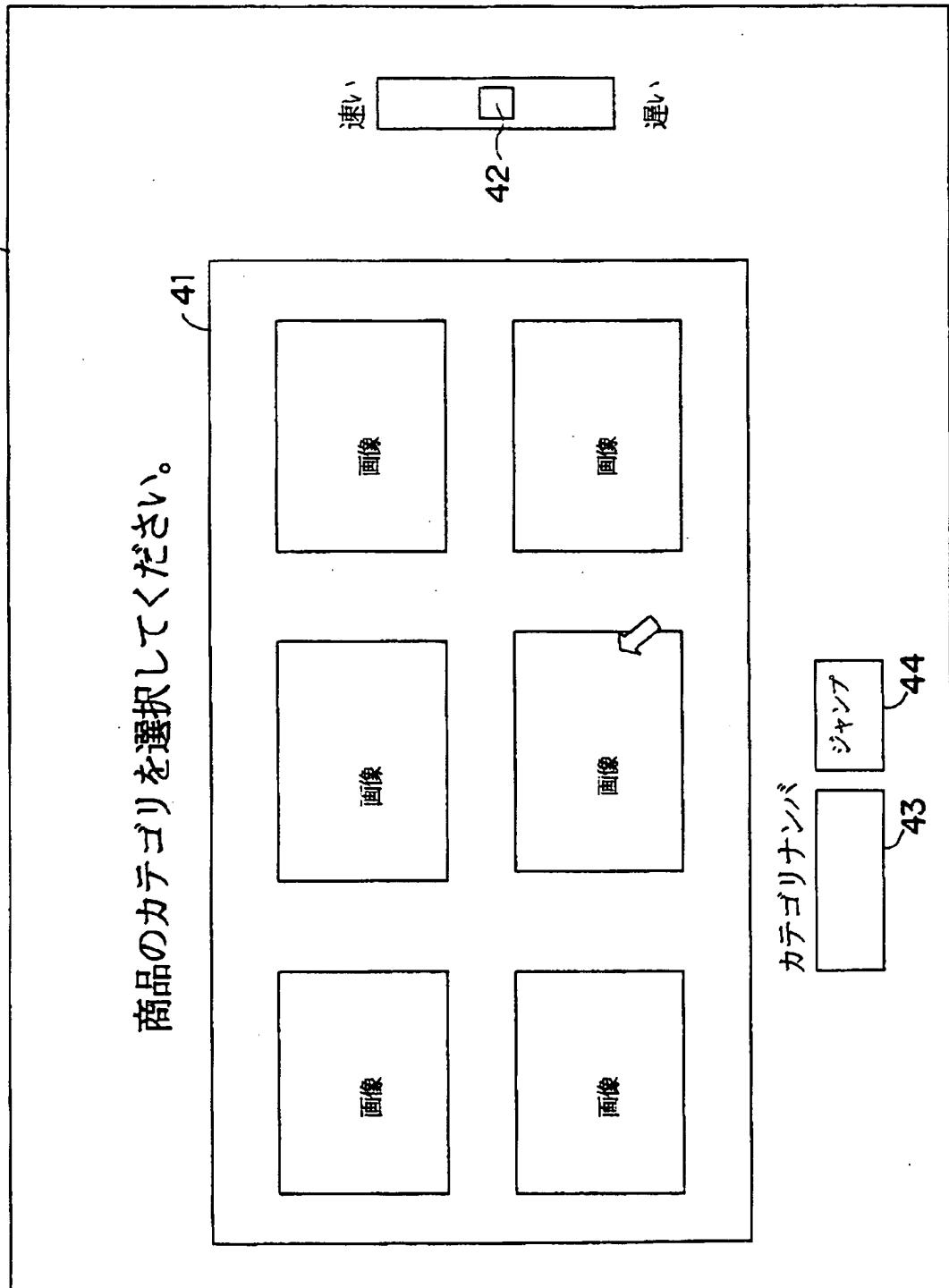


【図7】

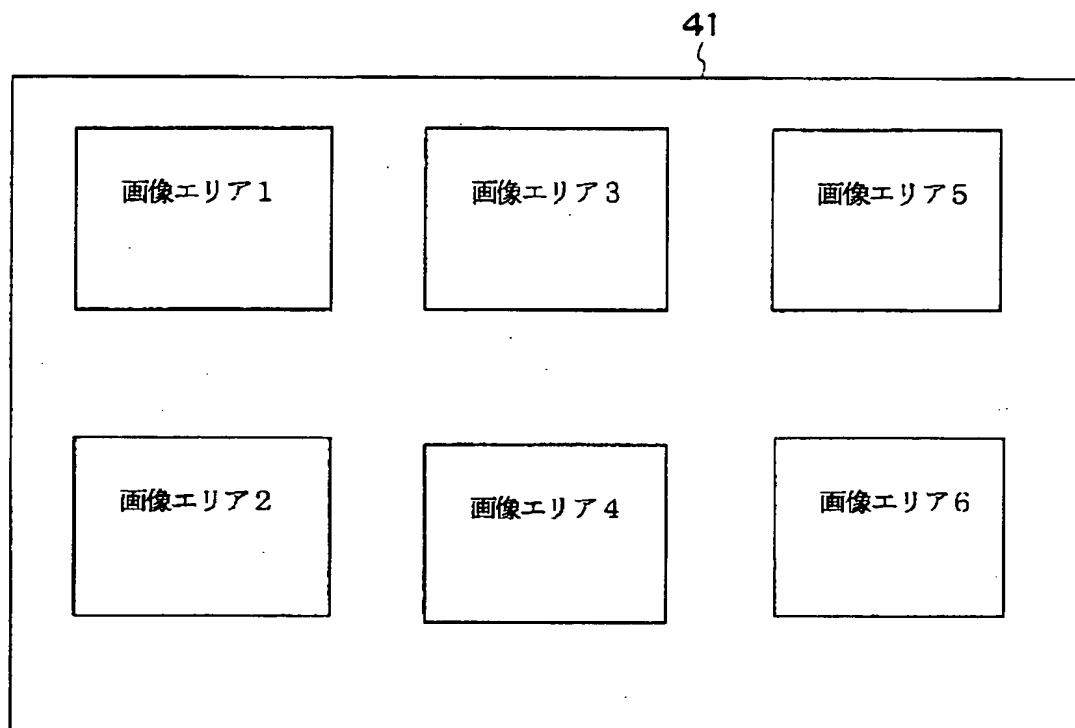


【図8】

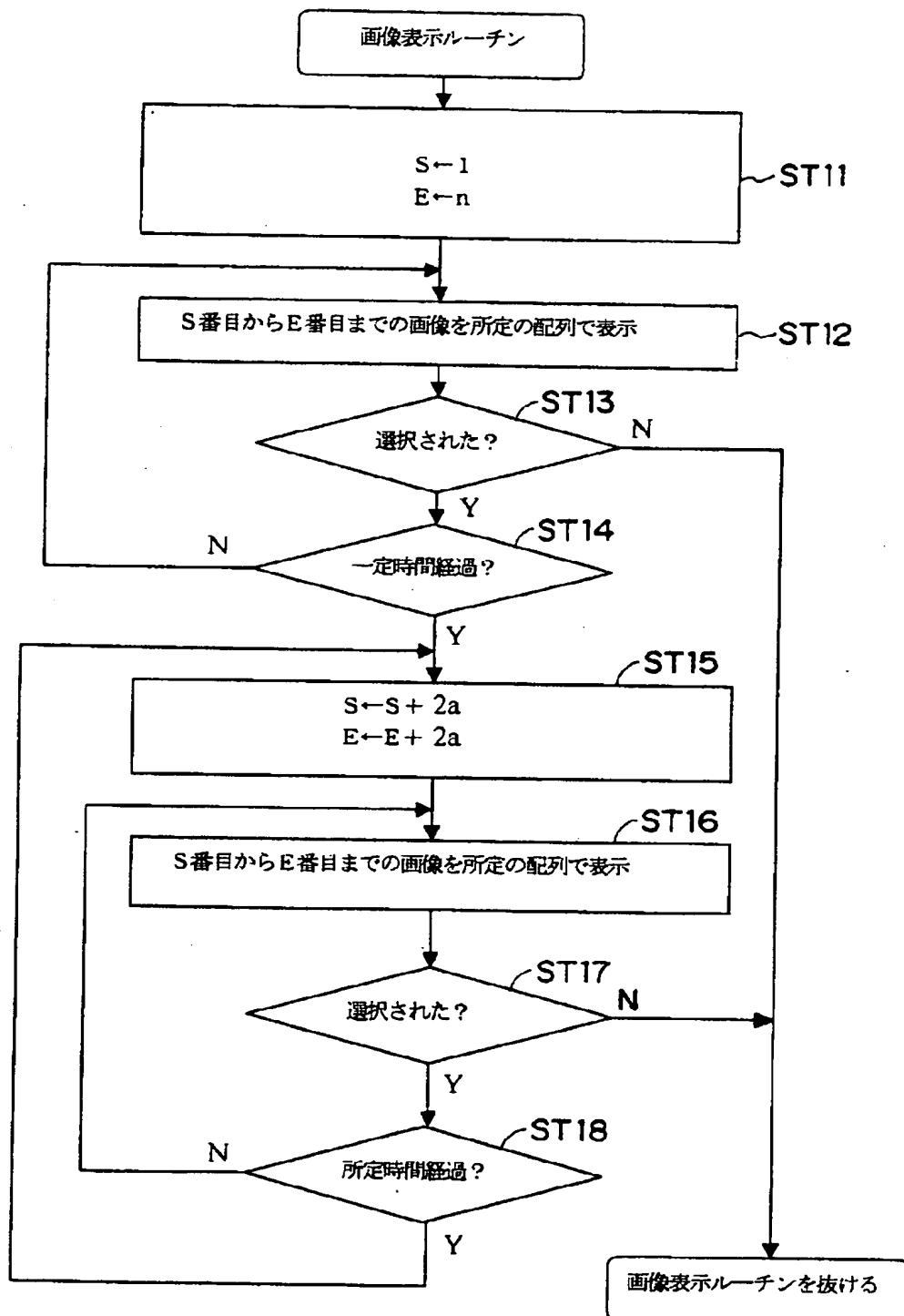
40



【図9】



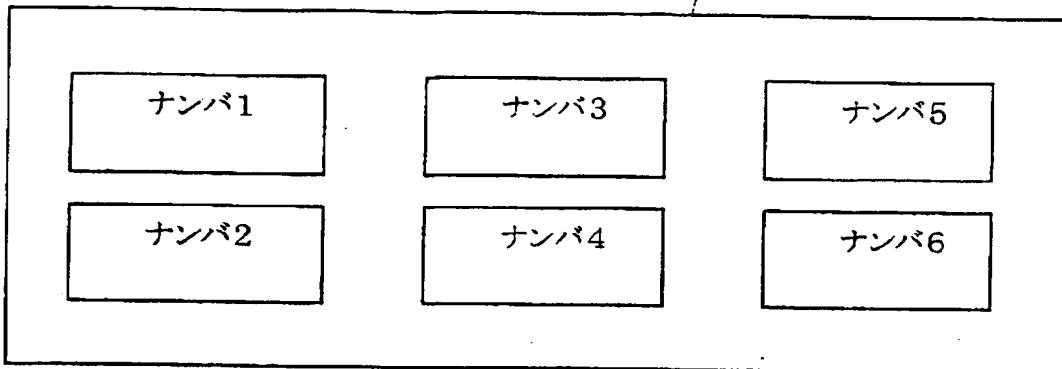
【図10】



【図11】

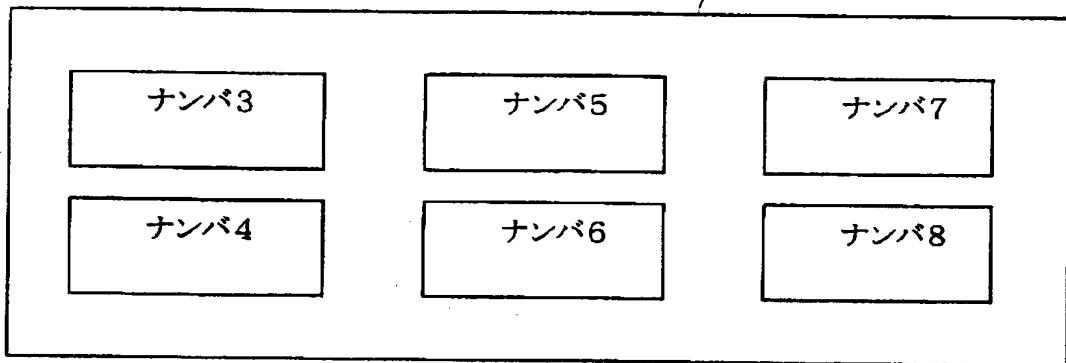
(A)

41



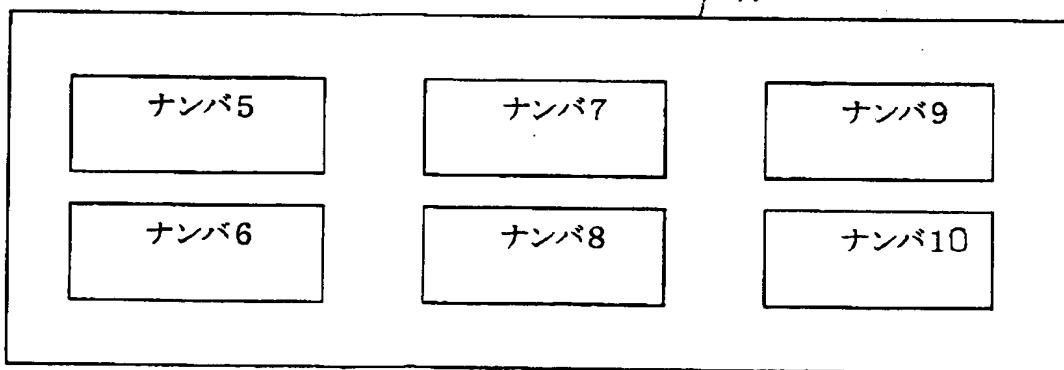
(B)

41

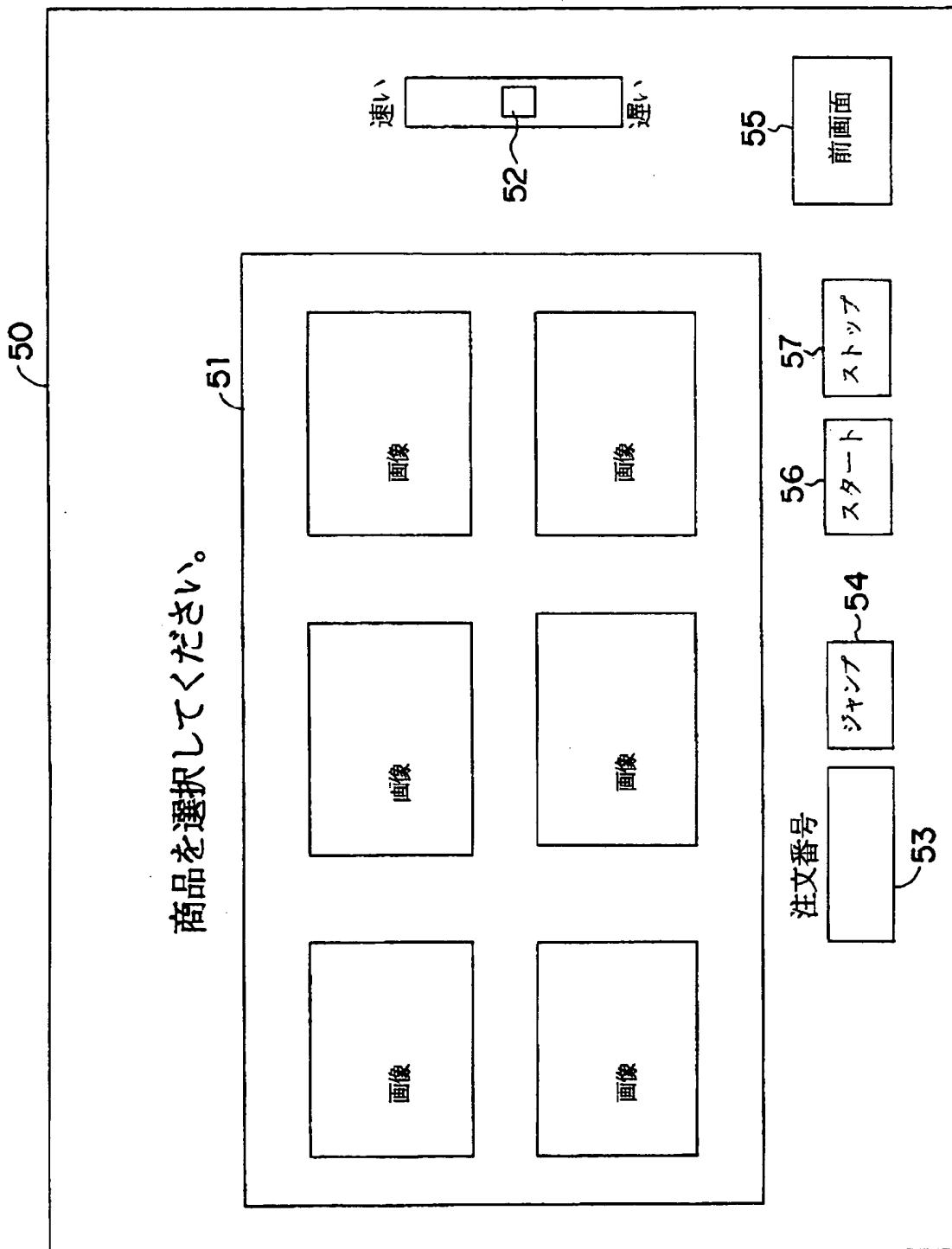


(C)

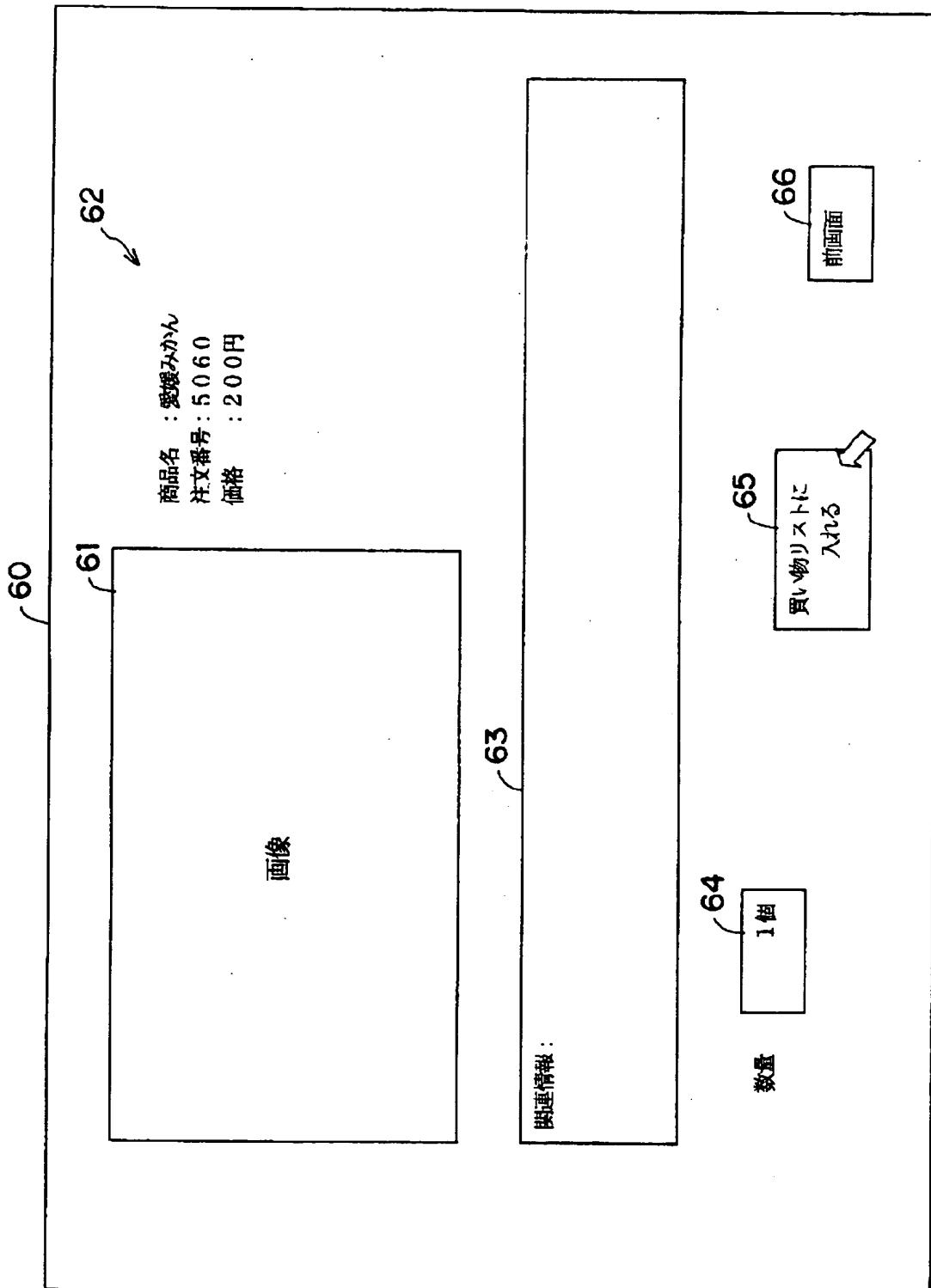
41



【図12】



【図13】



【図14】

70

71

商品のご購入金額が次のようになっております。  
注文してもよろしいですか。

注文番号	商品名	価格	数量	金額
5055	りんご	50円	3個	150円
5060	愛媛みかん	200円	1個	200円
			合計	350円

72

73

注文する

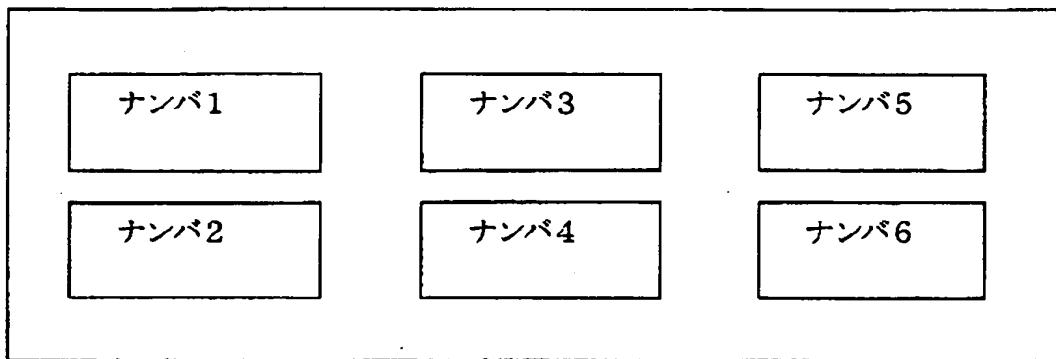
買い物を続ける

74

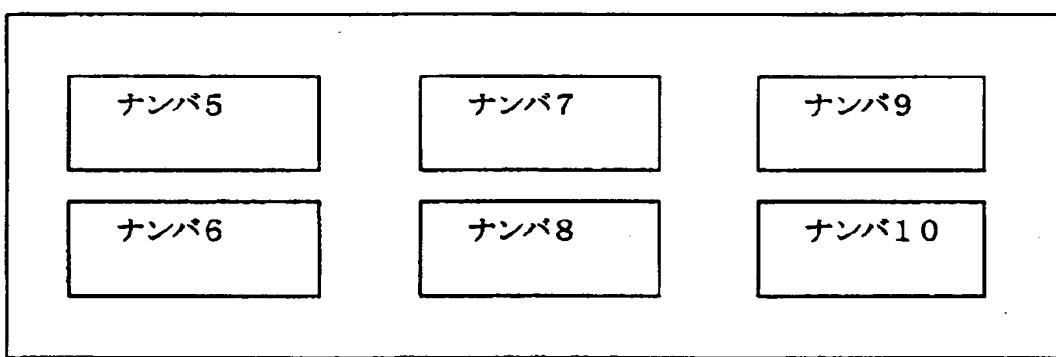
前画面

【図15】

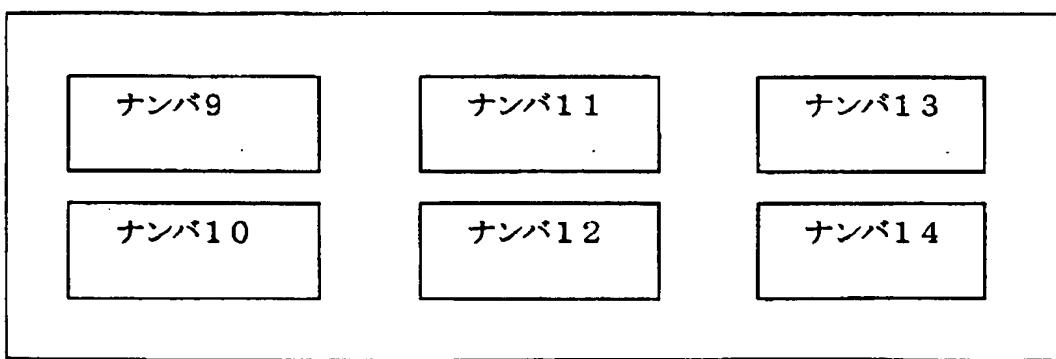
(A)



(B)

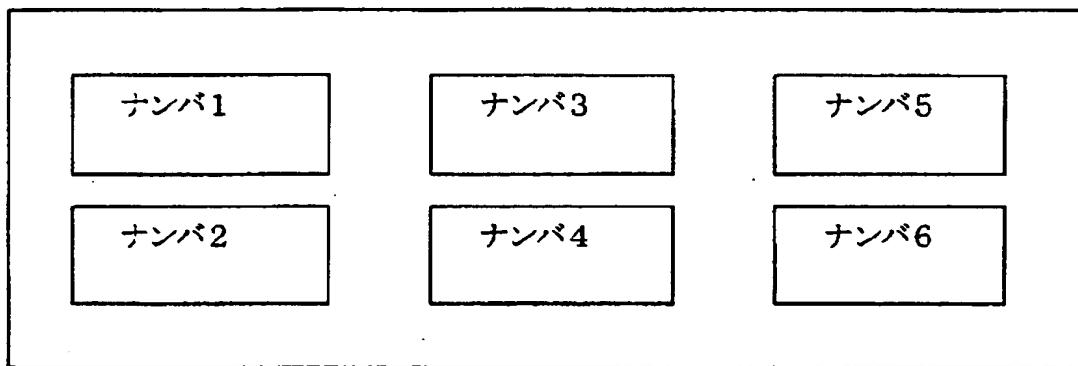


(C)

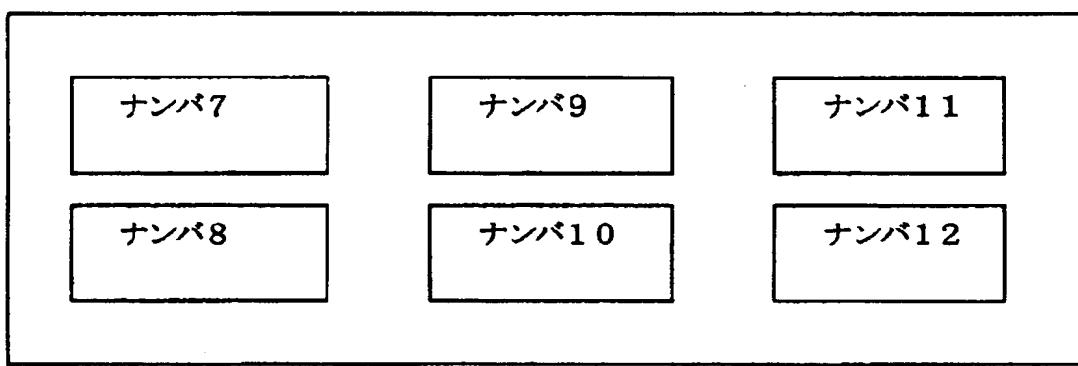


【図16】

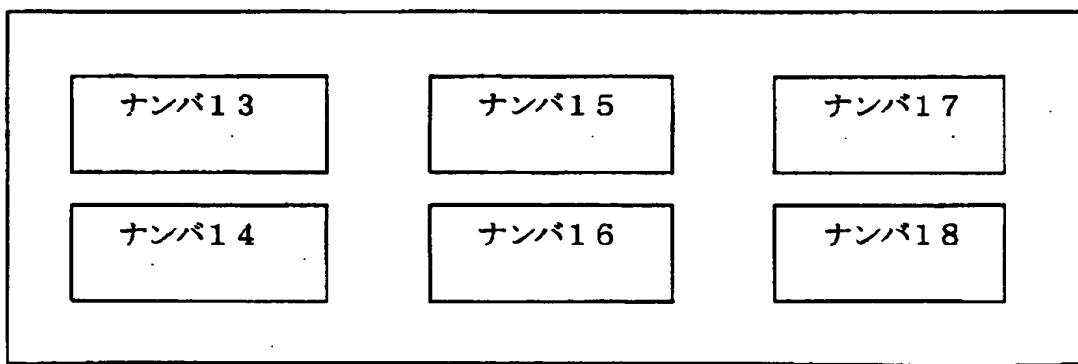
(A)



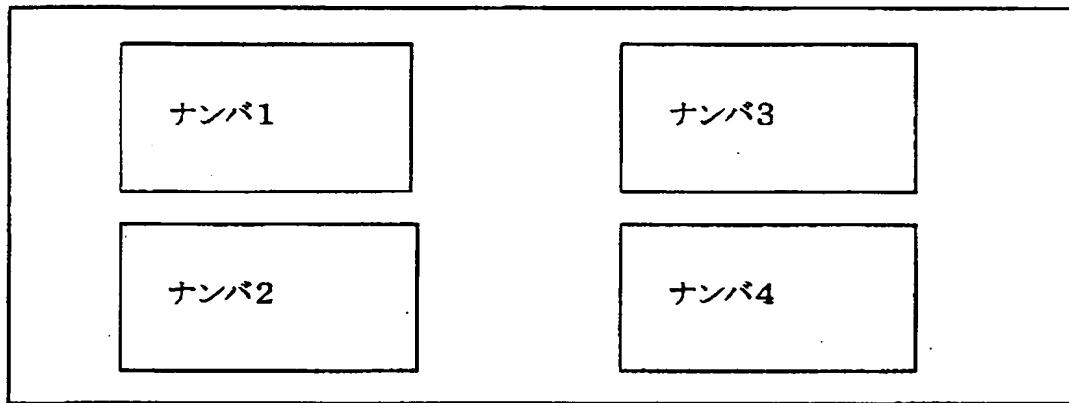
(B)



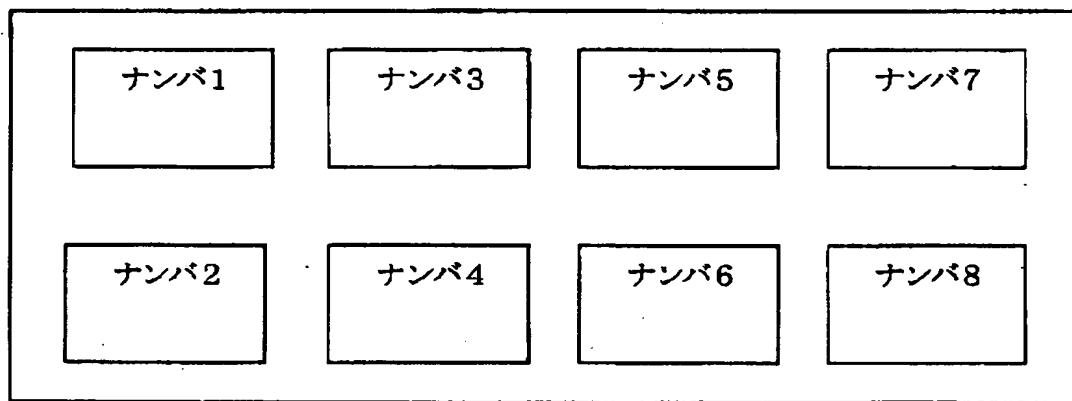
(C)



【図17】



【図18】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 商品数が増加しても、ユーザの操作負担を増やすことなく、簡単に所望の商品を探し出すことを可能にする。

【解決手段】 メインサーバの制御部は、通信端末のカテゴリ選択画面上に、カテゴリナンバ1, 2, . . . , 6のカテゴリ画像を6秒間表示させる（A）。次に、カテゴリ選択画面上に、カテゴリナンバ3, 4, . . . , 8のカテゴリ画像を1秒間表示させる（B）。さらに、カテゴリ選択画面上に、カテゴリナンバ5, 6, . . . , 10のカテゴリ画像を1秒間表示させる（C）。

【選択図】 図11

出願人履歴情報

識別番号 [000001889]

1. 変更年月日 1993年10月20日

[変更理由] 住所変更

住 所 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号  
氏 名 三洋電機株式会社